

1-32 福江島特産の五島野菜（ブロッコリー、高菜、スナップえんどう等）の生産を支える完熟堆肥（五島市たい肥センター）

○ 五島市たい肥センターは、島内の課題であった堆肥の安定供給と畜産由来の環境汚染防止を目的に整備され、牛ふん及び豚ふん等の家畜排せつ物を原料とする完熟堆肥を製造。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・牛ふん
- ・豚ふん 等

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・肥料名：五島グリーンパワー1号（牛ふん完熟堆肥：15kg袋、バラ）、五島グリーンパワー2号（牛・豚ふん混合完熟堆肥：15kg袋、バラ）

取組の経緯
 ・当該センターは、五島市の長年の課題であった良質堆肥の安定供給と畜産由来の環境汚染防止を目的に、市が平成20年度に設置。島内唯一の共同堆肥処理施設であり、地元JAが指定管理者として運営。

- 作物**
- ・ブロッコリー
 - ・高菜
 - ・スナップえんどう
 - ・そら豆
 - ・さつまいも
 - ・かぼちゃ
 - ・麦 等

■ 主成分の含有量（%）、特徴等

	N	P	K	C/N比
1号	1.5	1.8	3.3	17
2号	1.4	2.2	2.9	17

- ・牛・豚ふん混合堆肥は牛7:豚3の割合
- ・副資材には、オガクスを使用

取組の内容
 ・主な堆肥原料となる家畜ふんを畜産農家から購入し、職員が特殊車両で各農場へ出向き回収。
 ・堆肥は、攪拌装置等で好気性発酵を促しながら約40日間かけて製造し、でき上がった完熟堆肥は耕種農家に販売。また、要望に応じて配送や散布作業を実施。

成果（見込み）
 ・製造した完熟堆肥は、福江島特産の五島野菜（ブロッコリー、高菜、スナップえんどう等）の生産に活用されており、島内での資源循環が図られているほか、堆肥の施用によって、農作物の生産性向上や地力増進に寄与。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・五島市では、高齢化等により肉用牛の繁殖農家は減少しているものの、国、県及び市による施設整備支援等により、繁殖雌牛頭数は増加。そのため牛ふんの搬出希望が増加し、在庫状況から時期によっては受入れまでに時間を要するケースがある。
- ・堆肥センター設置から15年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、補改修費用等の維持管理費が増大。
- ・畜産農家からの家畜ふん搬出希望の増加に対応するため、耕種農家に対する利用促進の取組を関係機関で行っている。